

大使館からのお知らせ（注意喚起：サルト市内での騒擾事件）

在留邦人の皆様へ11月18日（木）15時半頃からサルト市において騒擾事件が発生し、サルト市内では20日（土）18時半頃まで3日間外出禁止令が発出されました。また、基本的にサルト市の内外への出入りも禁止されていました。具体的な経緯は以下のとおりです。

（1）ヨルダン人青年（Suleiman Khreisat氏）が運転する車両がナンバープレートをつけておらず、フロントガラスとバックガラスが割れていたため、警察官が止めようとしたところ、警察官の注意を無視して走り続けた。

（2）そのため、警察官が追跡し、サルト市内のSuleiman氏の自宅付近で捕まえようとしたところ、Suleiman氏、車両の同乗者3名及びその親族が警察官に対して石を投げてきた。

（3）激昂した警察官が発砲し、Suleiman氏の頭を貫通した。すぐに病院に搬送され、現在は植物人間状態にある。

（4）警察官の発砲に怒った一族約3000人が、搬送された病院付近で警察隊と衝突した。その他、サルト市内の警察署、パトカー等に放火して、市内が混乱した。

（5）この騒擾事件により、34名が逮捕された。また、警察官数名が負傷した。現在、サルト市内の混乱は収まり、沈静化しています。今後、加害者側と被害者側の部族同士で話し合いが行われる模様ですが、結果如何によっては、再度サルト市内で混乱が生じる恐れがあります。

従いまして、皆様方におかれましては、今後一週間程度にサルト市内に行かれる予定がある場合は現地情勢を十分踏まえて行動されるようお願いいたします。

また、ヨルダン国内では、何らかのトラブルが発生した場合、個人同士ではなく、家族（部族）同士の争いに発展するケースが多々あります。サルト市内に限らず、街中で混乱が生じていた場合は、すぐにその場を離れるようお願いいたします。